

|      |        |     |    |     |
|------|--------|-----|----|-----|
| 科目名  | 必修／選択  | 単位数 | 学年 | 学科  |
| 地理探究 | 選択（文系） | 4   | 3  | 普通科 |

|       |  |
|-------|--|
| 科目の概要 | <p>持続可能な社会づくりを目指し、環境条件と人間の営みとの関わりに着目して現代の地理的な諸課題を考察することに加え、グローバルな視座から国際理解や国際協力のあり方を、地域的な視座から防災などの諸課題への対応を考察し、地図や地理情報システム（GIS）などを用いることで、汎用的で実践的な地理的技能を習得する科目です。そのために、作業的で具体的な体験をともなう学習をより一層重視して、さまざまな諸課題を日常生活と関連づけて取り扱い、地理的な技能を身に付けるとともに、地理学習の有用性に気づき、学習意欲を高めることに配慮した内容や方法を工夫しています。現代世界や生活圏の諸課題について、主に主題的な方法を基にして学習できるようにしているのも、そうした点をふまえたものです。</p> |
|-------|--|

|     |     |                    |
|-----|-----|--------------------|
| 教材名 | 教科書 | 新詳 地理探究（帝国書院）      |
|     | 副教材 | 新編 地理資料 2023（とうほう） |

|     |      |
|-----|------|
| 担当者 | 藤澤善見 |
|-----|------|

|        |   |
|--------|---|
| 学習到達目標 | <p>①地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けます。</p> <p>②地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養います。</p> <p>③地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深めます。</p> |
|--------|---|

|      |  |
|------|--|
| 学習方法 | <p>地理総合では、授業を中心にして、必要となる知識や技術・技能法を身につけていくことを目標とする。授業の予習をすることは必要ではないが、授業には積極的に臨み、その時間内で出来る限り、理解する。また、復習をしっかりとすることにより、次の授業への準備も兼ねてほしい。</p> |
|------|--|

|                     | 知識・技能  | 思考力・判断力・表現力  | 主体的に学習に取り組む態度   |   |
|---------------------|--|--|---|---|
| 評価方法                | <ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>小テスト</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>授業での取り組み</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>課題の提出状況</li> <li>授業に対する姿勢</li> </ul> |   |
| 評価基準と評価規準<br>ルーブリック | A  | 地理に関わる諸事象に関して、地球的課題への取組などを理解し、まとめる技能を習得している。                             | 地理的な課題の解決に向けて構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を習得している。                        | 地理に関わる諸事象について、課題等を主体的に追究、解決しようとする態度を養う力を習得している。 |
|                     | B  | 地理に関わる諸事象に関して、地球的課題への取組などは不十分だが、まとめる技能を習得している。                           | 地理的な課題の解決に向けて構想したことを説明したり、それらを基に考察したりする力を習得している。                            | 地理に関わる諸事象について、課題等への取り組む態度を養う力を習得している。           |
|                     | C  | 地理に関わる諸事象に関して、地球的課題への取組などは不十分で、まとめる技能も習得していない。                           | 地理的な課題の解決に向けて構想したことを説明したり、それらを基に考察したりする力が不十分である。                            | 地理に関わる諸事象について、課題等への取り組む態度をが不十分である。              |

## 年 間 学 習 計 画

| 月        | 章 ・ 単元   | 学習内容・目標等   | 時数   | 備考(テスト・講習等)              |
|----------|--|--|--|--------------------------|
| 4        | 4章 生活文化、民族・宗教<br>1節 生活文化<br>2節 民族と宗教<br>3節 現代世界の国家<br>4節 民族・領土問題 | 世界の生活文化，民族・宗教に関する諸事象を取り上げ，それらの分布や民族と国家の関係などについて考察し，現代世界の民族，領土問題などについて大観する。 | 1 0  |                          |
| 5        | 第2部 現代世界の地誌的考察<br>第1章 現代世界の地域区分<br>1 地域区分の意義と指標                  | 現代世界の諸地域を多面的・多角的に考察し，各地域の多様な特色や課題を理解する。また現代世界を地誌的に考察する方法を身に付ける。            | 1 2  |                          |
|          | 第2章 現代世界の諸地域<br>1 地誌的な考察方法                                       |  | 1 0  |                          |
|          | 6  |  | 1節 中国<br>2節 韓国<br>3節 ASEAN 諸国<br>4節 インド<br>5節 西アジアと中央アジア | 1 0<br>1 0<br>1 0<br>1 2 |
| 7        | 6節 北アフリカとサハラ以南のアフリカ<br>7節 EU 諸国                                  |  | 1 2  |                          |
| 8        | 8節 ロシア<br>9節 アメリカ合衆国   |  | 1 0  |                          |
| 9        | 10節 ラテンアメリカ<br>11節 オーストラリアとニュージーランド                              |  | 1 2  | 前期期末考査                   |
| 10       | 第3部 現代世界におけるこれからの日本の国土像<br>1節 将来の国土の在り方                          |  | 1 2  |                          |
| 11<br>12 | 2節 持続可能な日本の国土像の研究  |  | 1 2  |                          |

